

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

・倉敷市児島味野



時代

・江戸時代



指定年月日

・平成18(2006)年
12月19日



所有

・(公財)竜王会館



見学

見学可

きゅうのざきけじゅうたく

旧野崎家住宅

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



この建造物について

江戸時代後半、児島半島の南側を中心に広大な塩田開発を行い、「塩田王」となった野崎武左衛門(1789~1864)の居宅で、低い丘陵を背景に長屋門、御成門が建っており、その奥に広い敷地があります。

中央に表書院、主屋を置き、その北側には内蔵、大蔵、書類蔵、道具蔵、岡蔵、夜具蔵が建ち並んでいます。

堂々とした構えの長屋門を入ると、主屋・表書院へと続く踏石があります。表書院はゆったりとした空間が広がっており、その前には3棟の茶室のほか、美しい枯山水の庭園が広がっています。

これらの建築群は、庭園や塩業資料の展示などともに広く一般に公開されています。